

令和3年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(前期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】

新型コロナウイルスの流行下に限らず、人間の生存が危ぶまれる状況では、私たちの生活のあり方を根底から問い直すことが求められる。この課題を考える上で、「生活者」という主体について述べた次の文章に注目したい。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：天野正子著『現代「生活者」論—つながる力を育てる社会へ』有志舎、2012年、p. i -iii.

※一部、本文中の引用文献表記等を省略し、下線部と太字による強調を行った。

【問1】

生活者とはどのような人びとなのでしょうか。筆者の見解を300字以内で要約しなさい。

【問2】

課題文を踏まえ、東日本大震災の被災地に限らない地域において、人びとが「生活者として歴史に参画する」行為には、どのようなものがあると考えますか。私的価値と公共的価値という言葉を用いながら、800字以内で具体的に述べなさい。